

TOREX IR REPORT VOL.5

第22期 中間報告書 2016.4.1 > 2016.9.30

巻頭特集

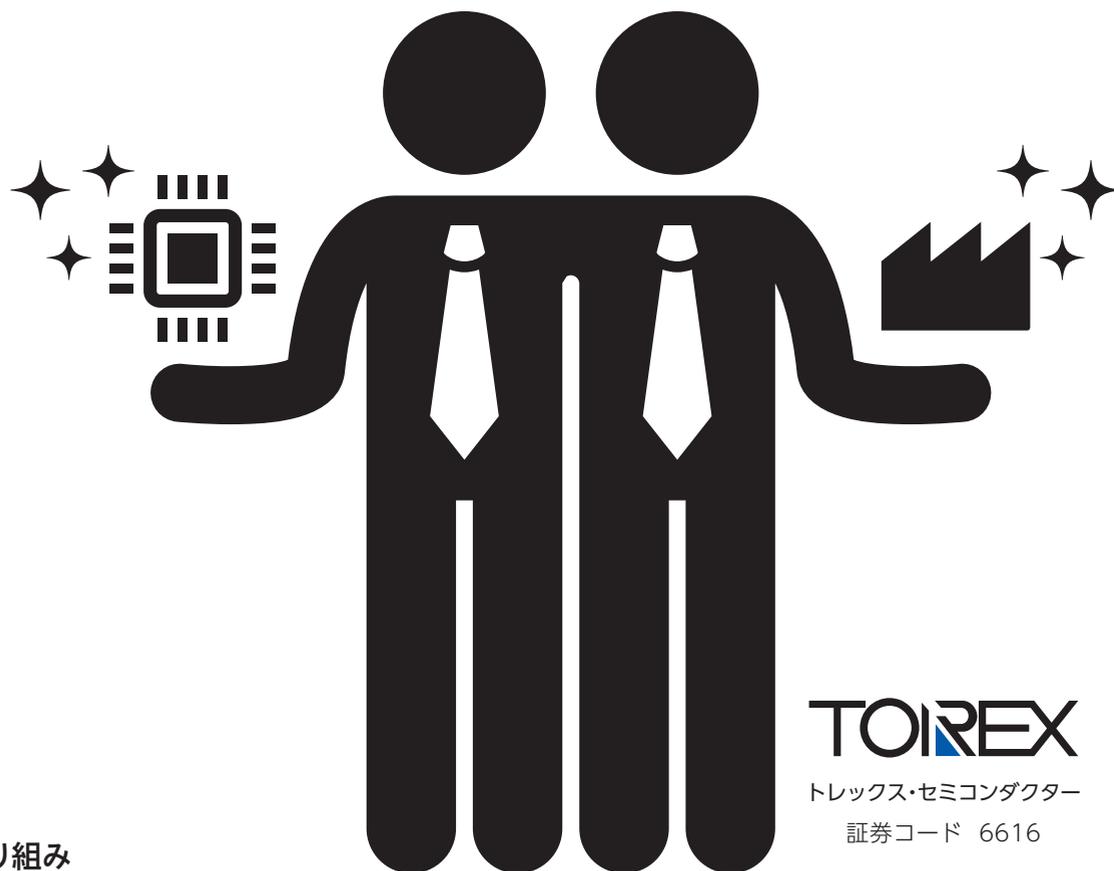
“新生”

トレックス・ セミコンダクター

フェニテックセミコンダクターの
子会社化に伴う事業構造の変化や
子会社化によるシナジー効果など
について説明します。

CONTENTS

- P1 “新生”トレックス・セミコンダクター
- P5 トップメッセージ
- P9 財務ハイライト
- P10 会社情報・株式情報・株主メモ
- 裏表紙 About トレックス Vol.5
コーポレート・ガバナンス体制強化への取り組み



TOIREX

トレックス・セミコンダクター

証券コード 6616

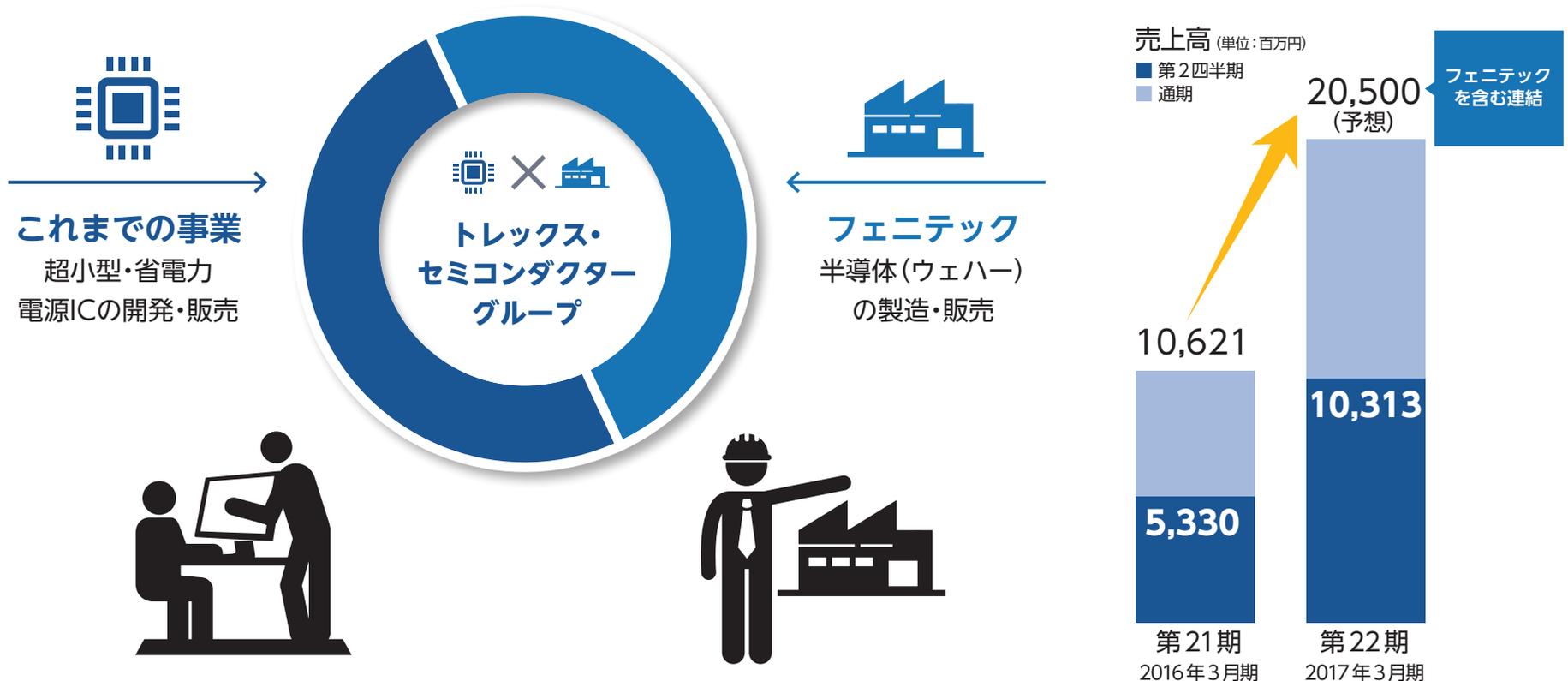


“新生”トレックス・セミコン

トレックス・セミコンダクターは2016年4月、フェニテックセミコンダクター(株)を連結子会社化し、ファブレス半導体メーカーから製造事業を行う企業に生まれ変わりました。

トレックス・セミコンダクターの事業構造が変わります。

これまでの電源ICの開発・販売事業に、フェニテックの事業であるウェハーの製造・販売事業が加わることによって売上が約2倍となりました。



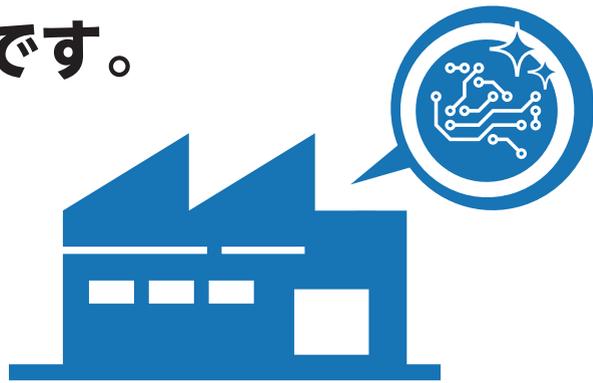
ダクター

フェニテックセミコンダクターは国内唯一の半導体受託製造専門メーカーです。

フェニテックセミコンダクターの特長

| 前工程(ファンドリーサービス) | | | |
|-------------------|-------------------------|-------------------------|--------------------------------|
| 生産 | | 部分加工 | |
| 自社開発品 =オリジナル製品 | 生産受託品 =カスタム製品 | 生産受託品 =カスタム製品 | |
| 既存製品を提案/提供 | お客様の要望にあわせてカスタム製品を開発/提供 | 自社保有のプロセスを利用しお客様設計製品を生産 | お客様からプロセスと設計を移管していただき、お客様製品を生産 |
| | | ウェハー生産の一部を加工処理 | |

お客様のニーズに基づいたファンドリーソリューションを提供することで低コスト・高品質の製品を実現



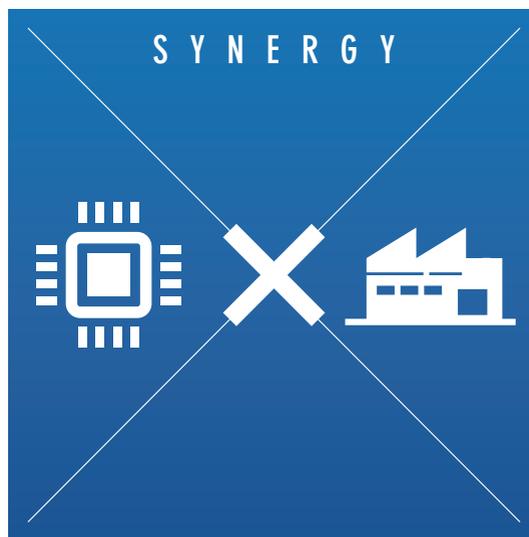
フェニテックセミコンダクターは創業49年目の国内唯一の半導体受託製造専門メーカーです。電源ICはもちろん、各種ICやディスプレイ製品などを生産しており、国内外企業の幅広い需要に対し、日本基準の高い品質の製品を提供しております。

フェニテックセミコンダクターの強み

- 1 半導体受託製造専門メーカーとして培ってきた固有技術や高いプロセス管理能力
- 2 国際規格を含め、国内外の高い品質要求水準にも対応できる生産体制
- 3 自然災害などに対応した生産体制で国内外のお客様に製品を安定供給

トレックスグループ全体でさまざまなシナジー効果を発揮して

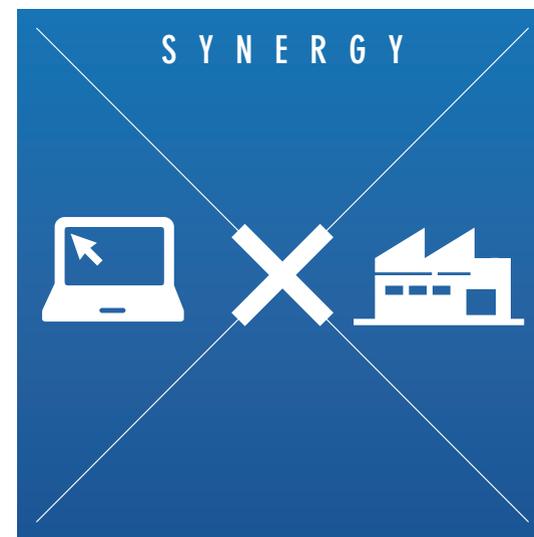
新生トレックス・セミコンダクターは、価値ある製品を開発・生産・販売し、お客さまに迅速にご提供できるよう、グループ全体の強みを最大限に活かし、競争力と収益力の向上を目指します。



提供価値の向上

.....

フェニテックの各種製品カテゴリに関わる技術・知見やオリジナル製品を加えて、両社が協力して開発・販売に取り組むことによって、お客さまへご提供する付加価値を高めてまいります。



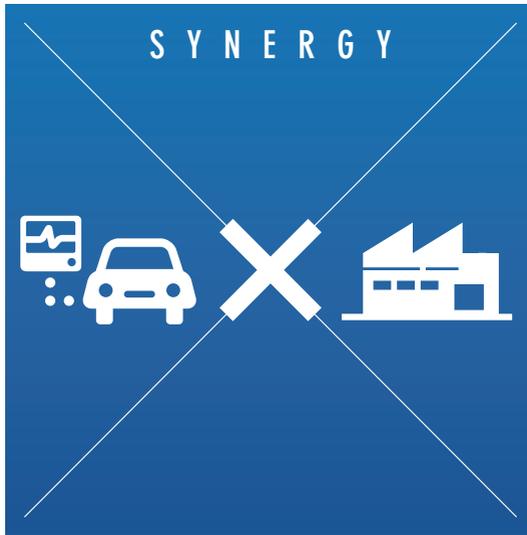
開発時間の短縮

.....

新製品の企画段階から、両社間で製造方法や生産管理手法を含めた協力体制を敷き、開発から製造までを効率よく進めることによって、お客さまへタイムリーに製品をお届けしてまいります。

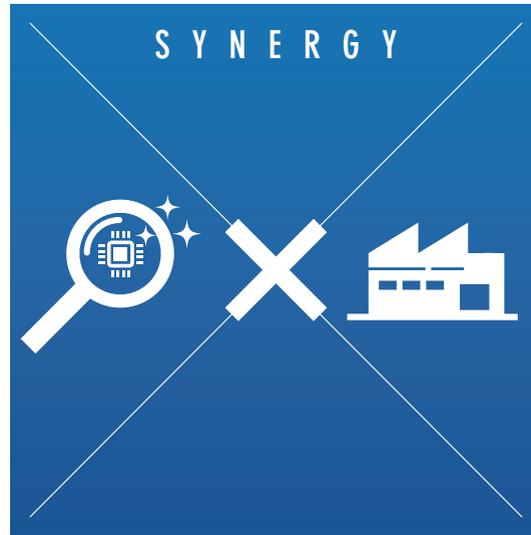


いきます。



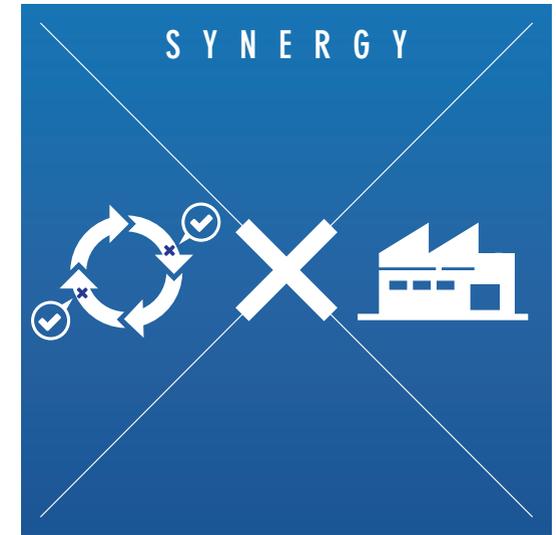
注力市場の攻略

今後当社が開発する産業機器・車載機器向け製品に要する基礎技術の開発、製造キャパシティの整備を協同して進めてまいります。



品質管理の強化

両社の保有する品質管理に関わる技術・設備・ノウハウを持ち寄り、各種の認証制度に的確に対応した品質管理・保証体制の強化を図ってまいります。



投資の効率化

重複する工程や設備投資等を洗い出し、投下資金の効率化を図ってまいります。

新生トレックスは世界で存在感のある会社を目指して大きな一

トレックスの新しい生産拠点



フェニテック本社工場 岡山県井原市木之子町
フェニテックの最初の工場。トレックス創業当時の製品生産に対応しております。



フェニテック第一工場
岡山県井原市木之子町
フェニテックの2番目の工場。本社工場より大きいウェハーの生産を行っております。



フェニテック鹿児島工場
鹿児島県始良郡湧水町
2015年10月にヤマハ(株)より譲受した工場。既存工場よりも微細な製造技術に対応しております。

株主のみなさまには、平素より格別のご支援を賜りまして厚く御礼申し上げます。フェニテックセミコンダクターの子会社化の狙いや、事業構造が大きく変わった新生トレックスのこれからについてご説明致します。

中長期的に企業価値の向上を目指して

トレックス・セミコンダクターは2016年4月に国内唯一の半導体受託製造専門メーカーである、フェニテックセミコンダクターを子会社化しました。

フェニテックが創業後48年間蓄積してきたウェハーの製造技術や生産コストを抑えた独自のプロセス管理能力は、他社と比較して遜色のないレベルにあるものと評価しております。また、車載向け製品に対応した高い品質管理水準の製品製造プロセスは、当社の車載向け電源ICの製造に大きく貢献しております。

当社は創業当時からフェニテックが持つ、技術力、製造プロセス管理能力、安定生産体制を活かした協業を続けておりましたが、同時により効率よく両社の強みを強化していく方法がないかと模索してきました。長期的な視野で協同の体制を敷き、成長機会を拡充していくためには、フェニテックを子会社化し、ヒト・モノ・カネの最適化を図っていくことが必要だと判断しました。

フェニテックを子会社化した新生トレックスは、開発・生産・販売の協同体制を整え、中長期的にトレックスグループの企業価値を高めていくことを目指していきます。



代表取締役社長 **芝宮 孝司**

歩を踏み出しました。

長期・安定供給で車載機器・産業機器市場の売上を拡大

ファブレスメーカーは自社工場を持っていないため、外注のウェハー工場の都合により製品の生産を中止とせざるを得ないリスクを常に抱えています。当社が注力している市場である、車載機器・産業機器分野のお客さまにとって、部品を選ぶ大きな条件となるのは、製品を安定的に長期に渡って供給できることです。

フェニテックの子会社化に伴い、当社がお客さまに製品を長期・安定供給可能なメーカーとして評価していただける環境を整えることにより、注力市場向けの売上は拡大が加速していくと考えております。

差別化した特徴のある製品の創造

2016年4月に開設した、関西技術センターは車載機器向け製品の開発に重点を置いている開発拠点です。岡山にあった品質管理の一部や札幌にあったテスト技術の一部を関西に集約し、車載機器向け製品開発の体制強化を図り、製品開発の効率向上に努めております。関西技術センターでは、幅広い分野のお客さまにご使用いただける製品仕様でありながら、車載機器に適した高いレベルの品質水準をクリアした製品開発を進めておりますが、その製品の製造を全面的にサポートしているのがフェニテックセミコンダクターです。

トレックスの製品技術とフェニテックの製造技術の融和は、高品質の差別化した製品づくりを可能とすると確信しております。

戦略的提携の活用

2016年4月に開設したTOREX USA Corp. R&D Centerはシリコンバレーに位置しており、最新技術の情報をタイムリーに入手することができます。当社は、優れた開発人材を本社から派遣すると同時に現地でも採用を行い、最新技術情報を獲得することはもちろん、シリコンバレーの最先端の技術を持つ企業と協業し、次世代を担う高付加価値な製品を開発することに取り組んでおります。

トレックスの新しい開発拠点



関西技術センター 大阪府吹田市江坂町

車載機器向けの製品開発に重点を置き、インフォテインメント、車載カメラ、ボディー系等の用途に適した高性能アナログ電源ICの製品開発に取り組んでおります。

注)インフォテインメントとは、インフォメーション(情報)とエンターテインメント(娯楽)の語を組み合わせた造語で、主に自動車(車載システム)について用いられる、「情報」と「娯楽」の提供を実現する(一体化された)システムの総称です。

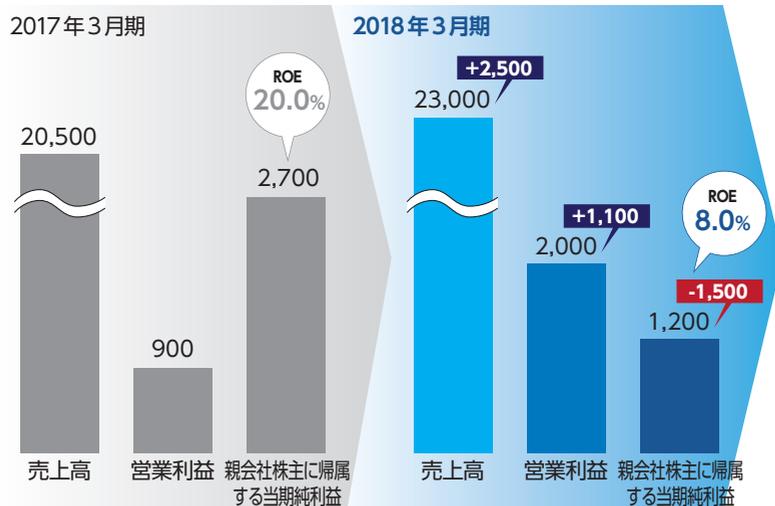


TOREX USA Corp. R&D Center カリフォルニア州サニーバール市
最新の技術と優れた人材でシリコンバレーに集結した最先端企業と協業し、当社グループの次世代を担う高付加価値製品の開発を進めております。

トップメッセージ

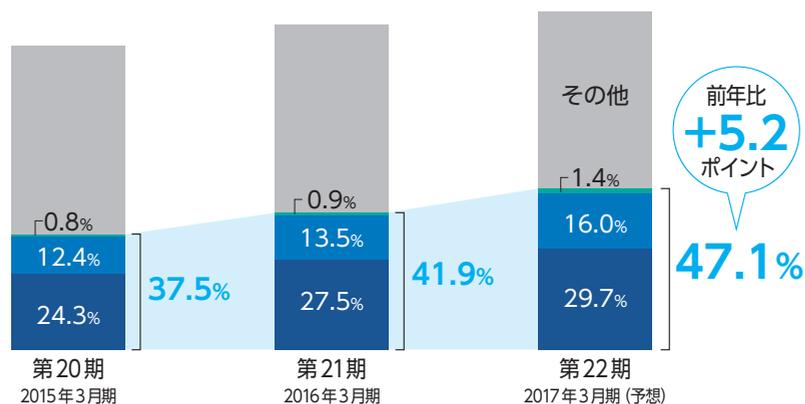
新生トレックスとして重点課題に取り組み着実な成長を目指します。

■ トレックスグループの定量目標



■ アプリケーション別売上構成 (旧トレックスグループの売上のみ)

■ 産業機器 ■ 車載機器 ■ 医療機器 ■ その他



成長戦略の基本方針

特性・品質を活かせる高利益率分野の売上を重視し、営業利益率18%、ROE12%を長期的な目標指標とし、高収益体質の回復・向上に取り組みます。

また、この高収益体質の確立を基盤として、技術・市場の両面から面的な成長を目指します。

重点成長分野の攻略

これまで重点市場と位置づけてきた、車載・産業・医療機器市場でのシェアアップに加え、新規市場(ウェアラブル、ドローン、ロボット、VR等)においても、電子制御や通信等の機能が付加・拡充していくとともにトレックス製品の潜在市場は拡大していく見通しであり、これらの市場に対応した製品開発に注力致します。

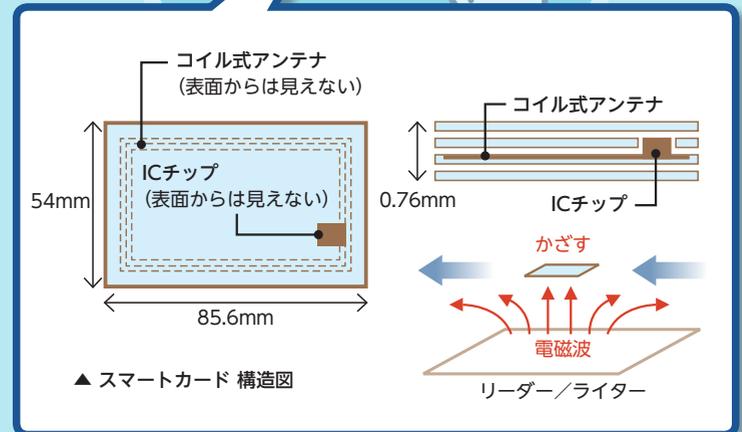
成長地域の開拓・深掘

海外拠点の体制とマーケティングの強化に取り組み、顧客基盤を拡大していく上で欧米、特に米国市場への浸透を進めています。

安定・高精度制御のシステム化

戦略的提携を活用して新たな基盤技術や生産技術を積極的に取り込み、最新の技術動向に迅速に対応致します。

また、フェニテックのグループ化に伴い、両者の培ってきた基礎技術・ノウハウを活かした新製品開発及びBCP対応を含めた長期安定供給の体制を確立し、最高水準の品質・信頼性を実現致します。



スマートカードは、キャッシュカード大のプラスチック製カードに極薄のICチップを埋め込み、情報を記録できるようにしたカードです。リーダーにカードをかざすだけで交信ができる便利さからSuicaなどの交通カードに使われていますが、記録の量が多く、データの暗号化が可能であることからクレジットカードなどの機能を持たせたスマートカードが近年、ヨーロッパや中華圏を中心に普及しております。複数のクレジットカードデータを記録し、一枚で管理することがこのカードの魅力の一つです。トレックスの製品はスマートカードに最適な極薄の省電力電源ICとしてたくさんのお客さまから高い評価をいただいております。

新生トレックスの還元方針

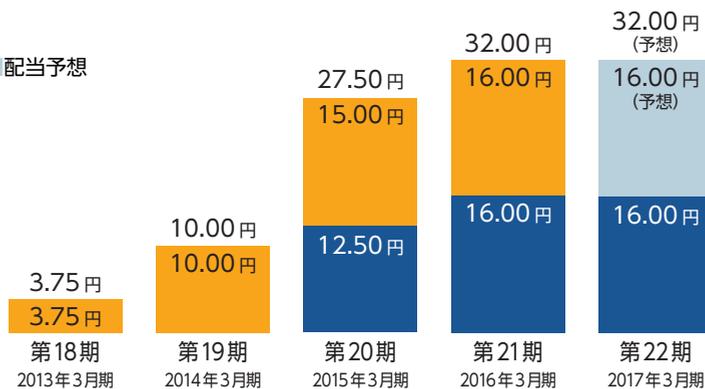
戦略的投資による成長力の向上を図りつつ、当社を取り巻く経営環境並びに中長期の連結業績及び株主資本利益率の水準を踏まえて実施していくことと致します。配当につきましては、業績水準を反映した利益配分として連結配当性向20%以上、安定的かつ継続的な株主還元の見直しとして株主資本配当率(DOE)3%程度を当面の目標として実施してまいります。

また当社は、2016年11月28日に子会社フェニテックセミコンダクターが保有する当社株式の全て176万株を取得いたしました。

上記の取得株式のうち116万株を2016年11月30日に消却いたしました。これによって当社の発行済株式総数は10,651,200株(9月末現在)から9,491,200株(2016年11月1日以降に新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません)となりました。

配当金の推移

■ 中間配当 ■ 期末配当 ■ 配当予想



| 配当金額 (百万円) | 34 | 91 | 291 | 340 | — |
|-------------|------|-----|------|------|---|
| 配当性向 (%) | 17.9 | 6.8 | 23.4 | 58.6 | — |
| 株主資本配当率 (%) | 0.6 | 1.3 | 2.7 | 3.1 | — |

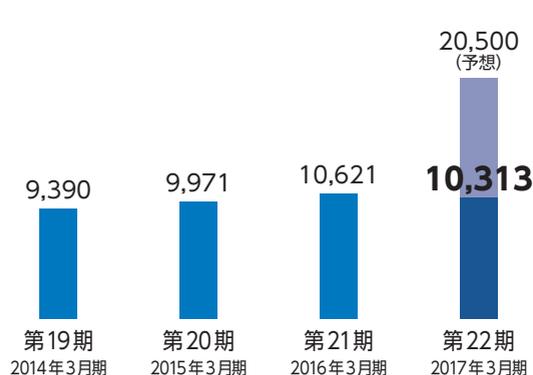
(注) 当社は2013年12月16日付にて普通株式1株につき100株の割合で株式分割、2015年4月1日付で株式1株につき4株の株式分割を行っております。2013年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、配当金額を算定しております。

■ 連結財務ハイライト

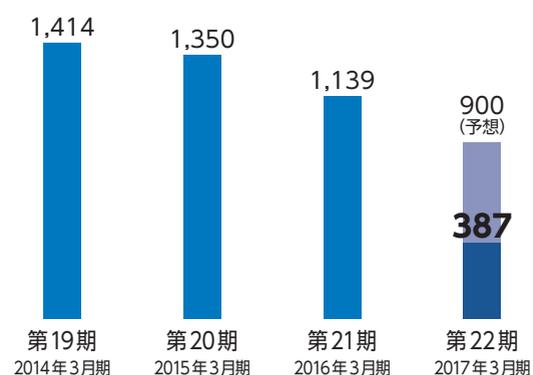
| | | 第19期 | 第20期 | 第21期 | 第22期 | |
|------------------|------|------------|------------|------------|------------|------------|
| | | 2014年3月期 | 2015年3月期 | 2016年3月期 | 2017年3月期 | |
| | | | | | 第2四半期(累計) | 通期(予想) |
| 売上高 | (千円) | 9,390,563 | 9,971,975 | 10,621,282 | 10,313,932 | 20,500,000 |
| 営業利益 | (千円) | 1,414,441 | 1,350,203 | 1,139,901 | 387,325 | 900,000 |
| 売上高営業利益率 | (%) | 15.1 | 13.5 | 10.7 | 3.7 | - |
| 経常利益 | (千円) | 1,339,126 | 1,678,928 | 970,553 | △266,168 | 400,000 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | (千円) | 1,357,052 | 1,247,728 | 580,401 | 2,332,988 | 2,700,000 |
| 総資産額 | (千円) | 10,800,641 | 13,170,991 | 12,972,871 | 25,236,977 | - |
| 純資産額 | (千円) | 7,904,745 | 10,889,371 | 10,928,988 | 13,774,480 | - |
| 自己資本比率 | (%) | 72.9 | 82.3 | 83.9 | 45.3 | - |
| 自己資本利益率 (ROE) | (%) | 19.1 | 13.3 | 5.3 | 20.4 | - |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | (千円) | 1,437,619 | 1,736,281 | 1,302,563 | 1,380,899 | - |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | (千円) | △189,566 | △1,412,687 | △169,423 | 2,750,410 | - |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | (千円) | △1,237,502 | 290,302 | △422,349 | 249,289 | - |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | (千円) | 5,556,025 | 6,478,864 | 6,855,452 | 10,521,814 | - |
| 1株当たり当期純利益金額 | (円) | 148.01 | 118.10 | 54.59 | 234.87 | 285.47 |
| 1株当たり純資産額 | (円) | 858.28 | 1,020.86 | 1,022.30 | 1,171.74 | - |
| 1株当たり配当額 | (円) | 40 | 110 | 32 | 16 | 32 |
| 配当性向 | (%) | 6.8 | 23.4 | 58.6 | 6.8 | 12.6 |

1. 売上高には、消費税等は含まれておりません。 2. 2013年12月16日付で株式1株につき100株の株式分割、2015年4月1日付で株式1株につき4株の株式分割を行っております。2015年3月期以前の1株当たり指標(配当は除く)についてはそれぞれ各連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。 3. 改正「企業結合に関する会計基準」等の適用に伴い、2016年3月期より従来の「当期純利益」は「親会社株主に帰属する当期純利益」に名称が変更になりました。 4. 2017年3月期通期(予想)の1株当たり当期純利益は、2016年11月30日に実施した自己株式の消却を考慮して算定しております。

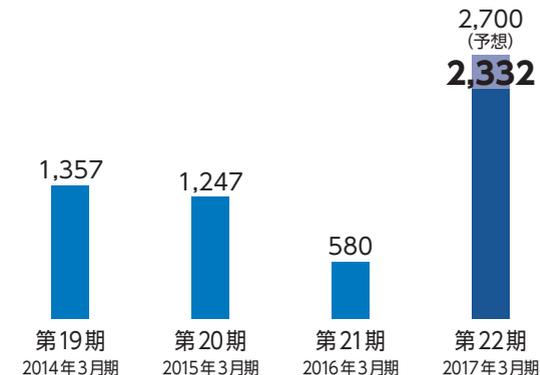
■ 売上高 (単位：百万円)



■ 営業利益 (単位：百万円)



■ 親会社株主に帰属する当期純利益 (単位：百万円)



■ 通期 ■ 当第2四半期(累計) ■ 予想

■ 会社情報 (2016年9月30日現在)

会社概要

社 名 トレックス・セミコンダクター株式会社

所 在 地 東京都中央区新川1-24-1
秀和第2新川ビル3F

設 立 平成7年(1995年)3月

資 本 金 18億2,061万円

事業内容 1. 半導体デバイスの開発、設計製造
2. 半導体デバイスの販売

従業員数 連結/1,002名 個別/164名

役員一覧

■ 取締役 (監査等委員である取締役を除く)

代表取締役 会長執行役員 藤 阪 知 之

代表取締役 社長執行役員 芝 宮 孝 司

取締役 常務執行役員 木 村 浩

取締役 執行役員 日 笠 基

取締役 執行役員 後 呂 眞 次

取締役 執行役員 木 村 岳 史

■ 監査等委員である取締役

常勤監査等委員(社外) 池 田 耕太郎

監査等委員(社外) 小 松 照

監査等委員(社外) 川 俣 尚 高

監査等委員(社外) 清 水 満 昭

■ 株式情報 (2016年9月30日現在)

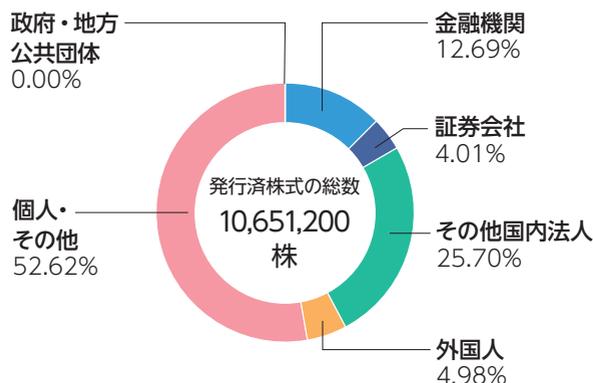
株式の状況

発行可能株式総数..... 36,673,600 株

発行済株式の総数..... 10,651,200 株

株主数 3,048 名

所有者別株式分布



大株主 (上位 10 名)

| 株主名 | 所有株式数 (千株) | 持株比率 (%) |
|----------------------------|---------------|-------------|
| フェニテックセミコンダクター株式会社 | 1,760 | 16.52 |
| 尾崎 正晴 | 679 | 6.38 |
| 藤阪 知之 | 497 | 4.67 |
| アルス株式会社 | 452 | 4.24 |
| 株式会社中国銀行 | 440 | 4.13 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9) | 395 | 3.71 |
| 芝宮 孝司 | 288 | 2.71 |
| 木村 浩 | 202 | 1.90 |
| 資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口) | 139 | 1.31 |
| 仲 剛志 | 136 | 1.28 |

株主メモ

| | |
|------------|--|
| 事業年度 | 4月1日から翌年3月31日まで |
| 定時株主総会 | 毎事業年度終了後3ヶ月以内 |
| 株主確定基準日 | 3月31日 |
| 期末配当金株主確定日 | 3月31日 |
| 中間配当金株主確定日 | 9月30日 |
| 単元株式数 | 100株 |
| 株主名簿管理人 | 東京都千代田区丸の内 一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 |
| 事務取扱場所 | 東京都千代田区丸の内 一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 |

郵便物送付先・連絡先 (郵便物送付先)
〒168-0063
東京都杉並区和泉2丁目8番4号
(連絡先)
0120-782-031

公告方法 当社の公告方法は、電子公告としております。
ただし事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載しております。

当社の公告掲載URLは次の通りです。
<https://www.torex.co.jp/>

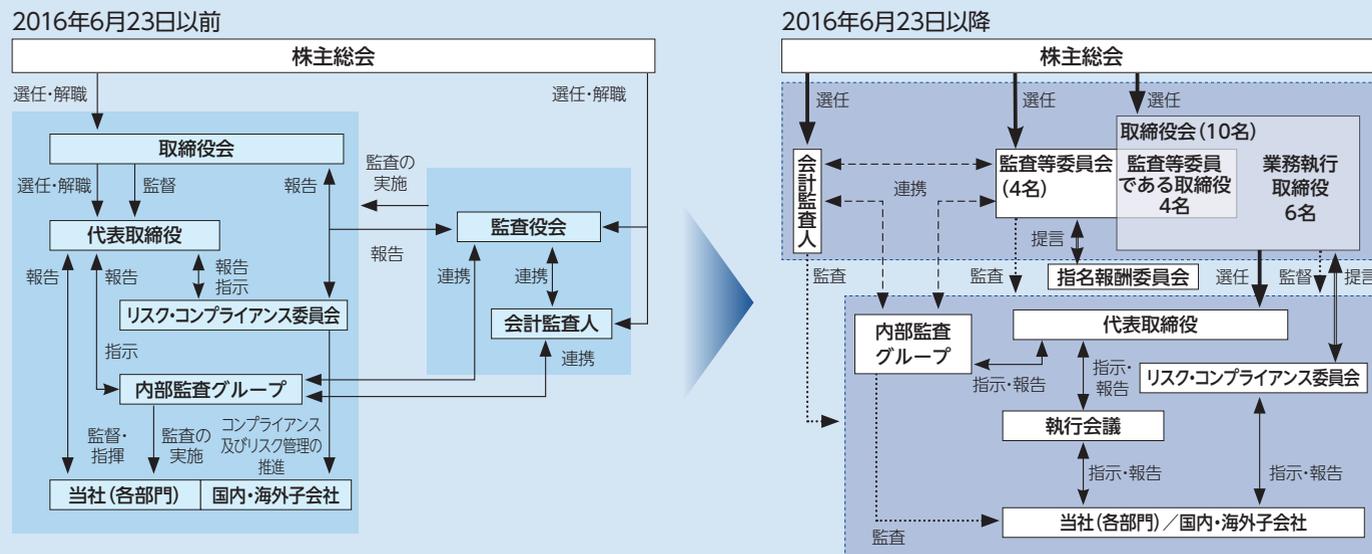
コーポレートガバナンス体制強化への取り組み

取締役会の持つ監督機能を高めつつ、業務執行の決定を広く取締役委任することを可能とすることで、業務執行と監督を分離するとともに、経営の意思決定を迅速化し、更なる企業価値の向上を図るために、監査等委員会設置会社に移行しました。

当社の具体的な取り組み

- ① 代表取締役および監査等委員をメンバーとした指名報酬委員会を設置
コーポレートガバナンス・ガイドラインに基づき、取締役候補の指名および報酬を決定するにあたっての手続きを明確化・客観化し、コーポレートガバナンス強化を実現するため、取締役会の任意の諮問機関として、指名報酬委員会を設置いたしました。
- ② 業務執行に関する意思決定を行う、取締役及び執行役員をメンバーとした執行会議を設置
経営の意思決定を迅速化するため、当該会議を原則週次で開催しています。
- ③ 年次での取締役会評価を実施

コーポレートガバナンス体制図



当社の最新情報は
WEBサイトでご覧いただけます。

トレックス・セミコンダクター

<https://www.torex.co.jp/>



トップページ

<https://ir.torex.co.jp/>



IR情報

トレックス・セミコンダクター株式会社

〒104-0033 東京都中央区新川1-24-1

秀和第2新川ビル3F

TEL (03)6222-2851



見やすく読みまちがえにくいユニバーサル
デザインフォントを採用しています。



環境に配慮した植物油
インキを使用しています。



ミックス
責任ある木質資源を
使用した紙
FSC® C022915